

平成 30 年 6 月 6 日

関係機関 各位

名古屋市精神保健福祉センター所長

平成 30 年度アルコール問題関係者研修の開催について

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、当センターの業務運営につきまして、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、別紙「平成 30 年度アルコール問題関係者研修開催要項」のとおりアルコール問題関係者研修を開催することになりました。

つきましては、貴所属の担当者のご出席につきましてご配慮いただきますよう、お願い申し上げます。

なお、参加希望者がありましたら、別紙「参加申込書」を期日までに、下記に郵送または FAX にてお送りください。

名古屋市精神保健福祉センターこころぼ
担当：真砂・大竹
〒453-0024 名古屋市中村区名楽町4-7-18
tel. 052-483-2095/fax. 052-483-2029
mail:a4832095@kenkofukushi.city.nagoya.lg.jp

平成 30 年度 アルコール問題関係者研修開催のご案内

1 研修趣旨

アルコール依存症によっておこる健康障害は、本人の健康の問題のみならず、DVや虐待など家庭環境の崩壊や対人関係において暴言や暴力など、人間関係を壊す問題にも関連していきます。

この研修は、アルコール依存症を持つ患者やそのご家族を支援していくための知識の普及・啓発、またご参加いただく皆さまとアルコール依存症によって起こる問題や課題点を共有し、今後の業務に活用していただくことを目的としています。

2 対象

下記の関係機関職員

- 1、愛知県医療ソーシャルワーカー協会に属する名古屋市内の医療機関関係職員
- 2、内科、消化器科を標榜している名古屋市内の医療機関関係職員
- 3、名古屋市内の精神科病院関係職員

3 日時、内容及び講師

	講義内容 (予定)	時間配分	講師 (依頼予定)
第 1 回目 30年7月26日(木)	アルコール問題に対する内科的アプローチ 1. 身体的疾患の特徴 2. 内科治療での取り組み 3. 内科における SB I RTS の手法について	14:00～15:00	NTT 西日本東海病院 名誉院長 医師 塚田 勝比古
	アルコール問題に対する精神的アプローチ 1. アルコール依存症の概要 2. 精神科治療での取り組み 3. 精神科における SB I RTS の手法について	15:00～16:00	八事病院 副院長 医師 奥田 正英
	SB I RTS の知識を深める。 アルコール依存症治療が必要と判断された方への声の掛け方について、ロールプレイによる体験。	16:00～17:30	医師 塚田 勝比古 医師 奥田 正英 八事病院アルコール病棟精神保健福祉士
第 2 回目 30年8月2日(木)	1. 地域におけるアルコール依存症の取り組みについて 2. グループワーク 「事例検討」	14:30～17:30	名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンター大曾根 職員 精神保健福祉士 石上 里美

※SB I RTS (簡易介入法) とは・・・

アルコール治療対象者か否かを検査によって見極め、「危険な飲酒」と「アルコール依存症」が疑われたら、専門の医療機関や自助グループに紹介して連携を行い、アルコール関連障害の早期発見・早期治療に繋げる方法のことです。

FAXにてお申込み下さい
名古屋市精神保健福祉センター 真砂・大竹行
FAX 483-2029

平成30年度 アルコール問題関係者研修 参加申込書

所属名 _____

連絡担当者 _____

連絡先 TEL _____ FAX _____

平成30年度アルコール問題関係者研修の参加希望者は下記のとおりです。

1. 受講希望者（参加可能な日程に、○をお付け下さい。）

氏名	職種	第1回目 7/26	第2回目 8/2
1			
2			
3			

※ 参加希望の優先順で、ご記入をお願い致します。2回連続で参加の方を、優先させていただきます。

※ 平成30年7月6日（金）までにFAXでお申し込み下さい。

受講希望者が定員を超えた場合は、人数制限をさせていただきます。制限をする場合は、7月19日（木）までに電話連絡致します。

2. アルコールに関わる問題について、お困りの事例や講義内容に関して質問等がありましたらご記入ください。
(講義内容やグループワークにおいて参考にさせていただきます。詳細を確認するために、ご連絡させていただく場合もございます。)

申込先： 〒453-0024 名古屋市中村区名楽町4丁目7番地の18
名古屋市精神保健福祉センター 管理係 担当：真砂・大竹
TEL 052-483-2095 / FAX 052-483-2029